

松原市アドバンスト・インターンシップ（AIM）に関する Q&A

（概略及び参加手続きについて）

Q1：従来型のインターンシップと AIM では何が違うのですか？

A1：従来型のインターンシップでは、学生が個人単位で活動するのが一般的なスタイルだと思いますが、AIM ではチーム単位（3～5人程度）で活動してもらうこととなります。つまり、従来型が個人戦だとすれば、AIM は団体戦と言えるでしょう。

Q2：チーム応募と個人応募の併願は出来ますか？

A2：併願応募は可能です。チーム応募用（様式第1号、第2号及び第4号）と個人応募用（様式第1号、第3号及び第5号）の提出書類をそれぞれ大学等へ提出してください。なお、チームでの参加となった場合は、自動的に個人応募から外れることとなります。

Q3：AIM への参加を希望した場合、必ず受け入れてもらえるのですか？

A3：応募者多数の場合は書類選考の上、受入れの可否を決定いたします。

（大まかな流れと研究テーマについて）

Q4：AIM の大まかな流れはどのようになっていますか？

A4：AIM に取り組むチームは、メンバー同士でどのような研究テーマを設定するかを協議するとともに、協力しながらその研究テーマを掘り下げていくこととなります。実習の最終段階では、研究テーマを踏まえた教育政策の提案をチームごとに発表していただきます。

Q5：研究テーマはどんなものでもいいのですか？

A5：松原市の教育を構造的に改善することにつながる可能性のあるものであれば何でも構いません。小・中学校の学習指導の現状や教職員の勤務状況など教育に関わる様々な課題や、みなさんがこれまでの学校生活を送ってきた中で感じたり気付いたりした改善すべき点などに基づき研究テーマを設定してください。

Q6：研究テーマはチームのメンバーごとに異なってもいいのですか？

A6：研究テーマはチームのメンバー共通のものとして設定していただきます。共通のテーマについて各メンバーが多面的・多角的な視点から検討することにより、より実現性の高い政策提案をしてもらうことを期待しています。

Q7：一度決めた研究テーマを途中で変更することはできますか？

A7：実習を進めていくうちに新たな視点の発見や気づきが生じてくることもあるでしょうから、多少の軌道修正は可能です。

Q8：実習を進めていく中で、様々な統計資料やデータが必要な場合や、学校現場等を見学したい場合はどのようにすればいいですか？

A8：個人情報に関わるもの以外の基本的なデータの提供や各種施設の見学などは、教育委員会事務局等の職員に相談していただければ、可能な範囲で対応します。

Q9：AIMは単位認定されますか？

A9：単位認定されるかどうか、また、認定される場合の単位数については応募者が在籍する大学等にお問い合わせください。

(実習への参加形態及び研究の進め方について)

Q10：AIMの実習期間中は毎日フルタイム参加しなければならないのですか？

A10：毎日参加する必要はありません。むしろ、教育委員会事務局内の受入れスペースの都合上、各チームからの参加は一日につき一人までとさせていただきます。チームのメンバー同士で大学等の授業日程等を考慮しながら参加ローテーションを組んでください。

(例：Aさんは月曜日、Bさんは水曜日の午後、Cさんは木曜日の11時～15時、Dさんは金曜日)

Q11：各チームからの実習参加が一日当たり一人までということでは、研究テーマを深められるかどうか不安です。

A11：AIMの実習開始日はチーム全員でオリエンテーションを受けていただきます。また、チームのメンバー同士で研究の進み具合について、実習に参加したメンバーは必ず実習内容をテキストでチームのメンバーに共有し、月1～2回程度はメンバーで作戦会議(オンライン可)を実施してください。また、大学等の担当教官からもアドバイスをもらってください。

Q12：実習の最終段階で教育政策の提案をすることですが、具体的にはどうするのですか？

A12：大学などの講堂を会場として、学生や一般の方々、職員の前でプレゼンテーションを行っていただきます。また、実習期間を通じた参加者の活動の様子や、最終的なプレゼンテーションの内容については、松原市教育委員会のホームページ等で広く紹介させていただく予定です。特に優れた提案については、松原市の実際の教育政策に反映させていただく可能性があります。

Q13：学生だけでやりきれるか不安です。

A13：各チームに一人、職員がチューターを務めてアドバイスをを行います。

Q14：学校の先生や子どもたちにアンケートをとりたい場合はどうすればよいですか？

A14: アンケート用紙を作成すれば各学校に配布することは可能です。詳細はチューターにご相談しながら進めてください。

(その他)

Q15: AIM への参加に際しては、交通費や賃金などは支給されるのですか？

A15: 交通費や賃金などの支給はいたしません。あくまでも AIM は学生のみなさんに「自主的な学びの場」を提供するものであり、「職員の仕事のお手伝い」をさせたり、「安価な労働力」として扱ったりすることは決してありません。

Q16: 実習期間中の服装はどのようにすればいいですか？

A16: 公的機関で学生が実習を行うということを踏まえた上で、社会通念に照らして適切と思われるものであれば結構です。

Q17: 実習中は PC 等の貸与を受けることはできますか？

A17: AIM 参加者は、ウイルス対策済みのモバイル PC 等を各自でご用意いただきます。また、市役所内のネットワークは使用できないので、モバイルルーター等についても各自でご用意いただきます。